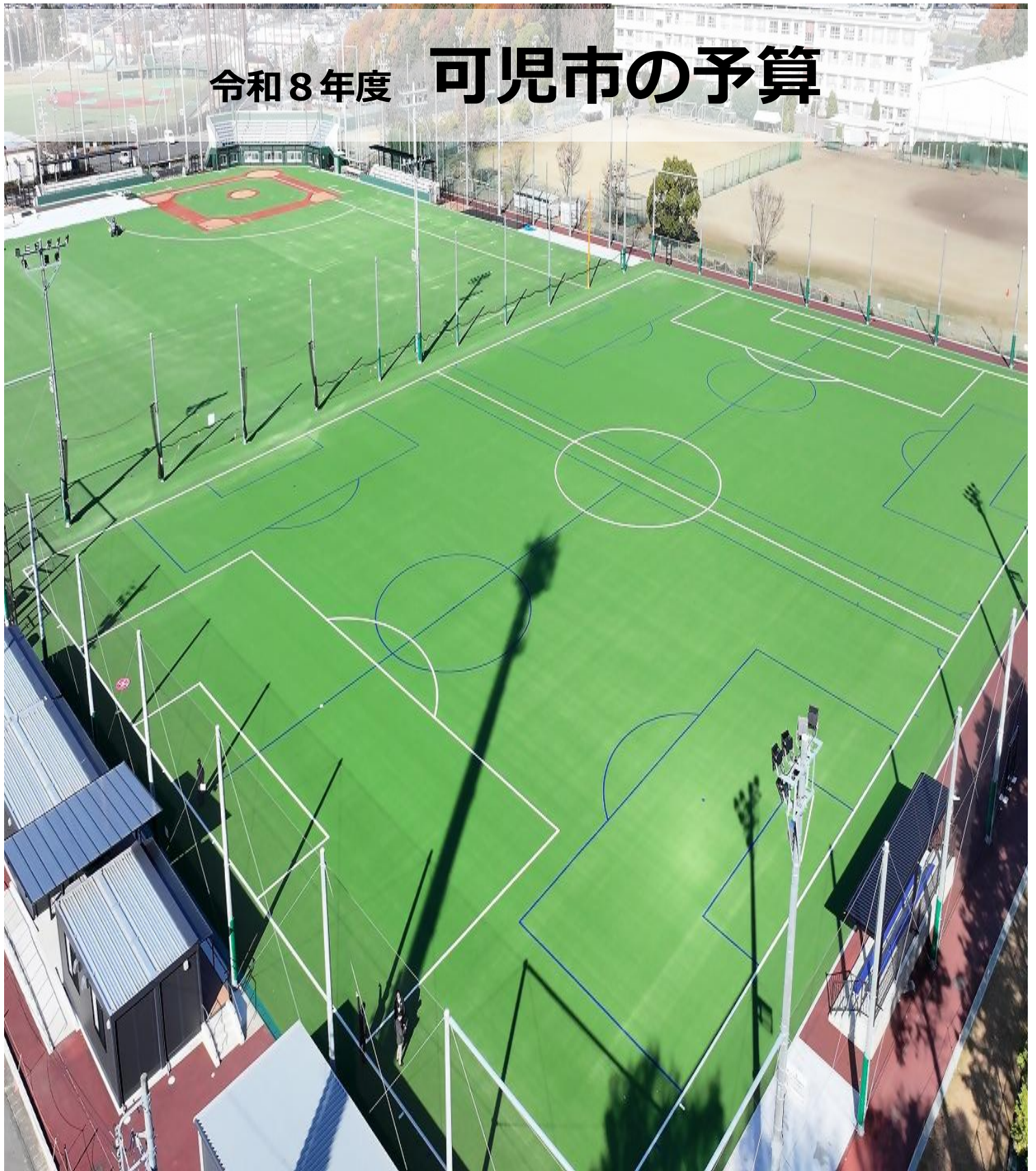


令和8年度 可児市の予算



目次

- P1 令和8年度 可児市の予算について
- P3 重点方針 子どもの笑顔と
子育て世代の安心づくり
- P5 重点方針 高齢者の安気づくり
- P6 重点方針 地域・経済の元気づくり
- P7 重点方針 まちの安全づくり
- P8 一般会計 資料編

表紙の写真

市原産業スポーツフィールド(可児市運動公園グラウンド)

住みごこち一番・可児

～すこやかに、にぎやかに、おだやかに暮らせるまち～

本市の目指す将来像である「住みごこち一番・可児～すこやかに、にぎやかに、おだやかに暮らせるまち～」の実現に向けて、令和8年度予算には、市政経営計画に位置付けた4つの重点方針に基づいた施策を盛り込みました。

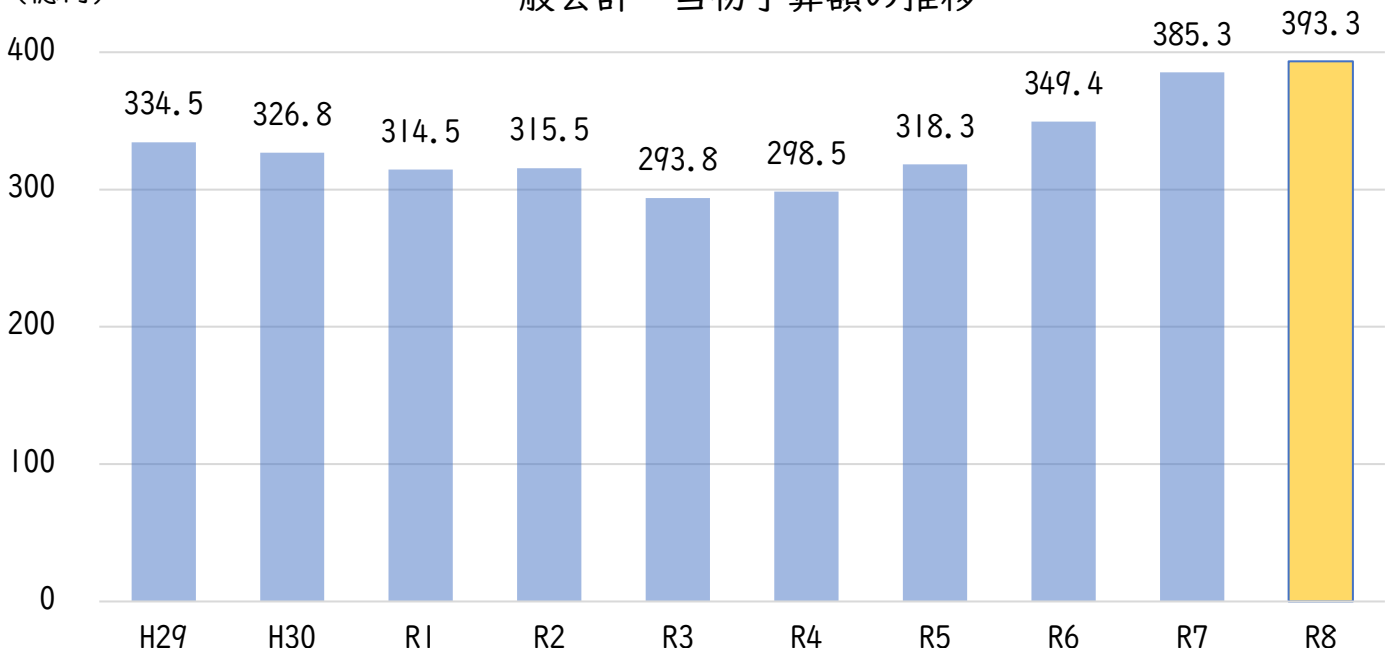
さらに、令和8年度には本市が持つ多様な魅力や住みごこちの良さを市内外、そして世界へ広く発信する「住みごこち一番“+（プラス）”」の取り組みを新たに展開していきます。

令和8年度 可児市の予算

会計	令和8年度	令和7年度	対前年度比較	
			増減額	増減率(%)
一般会計	393億3,000万円	385億3,000万円	8億円	2.1
特別会計	209億3,420万円	197億3,440万円	11億9,980万円	6.1
企業会計	88億6,500万円	89億円	△3,500万円	△0.4
総計	691億2,920万円	671億6,440万円	19億6,480万円	2.9

(億円)

一般会計 当初予算額の推移



特別会計・企業会計 予算額

会 計	令和8年度	令和7年度	対前年度比較	
			増減額	増減率(%)
国民健康保険事業特別会計	90億9,000万円	92億9,500万円	△2億500万円	△ 2.2
後期高齢者医療特別会計	21億7,200万円	19億3,300万円	2億3,900万円	12.4
介護保険特別会計	87億4,090万円	82億5,980万円	4億8,110万円	5.8
保険事業勘定	87億3,000万円	82億5,100万円	4億7,900万円	5.8
介護サービス事業勘定	1,090万円	880万円	210万円	23.9
自家用工業用水道事業特別会計	1億6,200万円	1億6,200万円	0円	0.0
可児御嵩インターチェンジ工業団地 開発事業特別会計	7億4,500万円	6,000万円	6億8,500万円	1,141.7
財産区特別会計	2,430万円	2,460万円	△30万円	△ 1.2
土田財産区	330万円	330万円	0円	0.0
北姫財産区	670万円	600万円	70万円	11.7
平牧財産区	520万円	520万円	0円	0.0
二野財産区	170万円	180万円	△10万円	△ 5.6
大森財産区	740万円	830万円	△90万円	△ 10.8
水道事業会計	41億7,100万円	41億9,400万円	△2,300万円	△ 0.5
下水道事業会計	46億9,400万円	47億600万円	△1,200万円	△ 0.3
合 計	297億9,920万円	286億3,440万円	11億6,480万円	4.1

可児っ子の成長 ×

子どもの笑顔と



重点方針

子育て世代の安心づくり



赤ちゃんがお腹に
いるときから

■ 子育て家庭を応援

妊婦等包括相談・支援給付（7,022万円）

妊婦の皆さんや子育て家庭に寄り添いながら、いっしょに出産や育児の準備を進められるよう、面談を通じて不安や悩みをお聞きし、必要な情報を届けながら適切な支援につなげる「包括相談支援」を行います。また、妊娠の届け出をされた方に5万円と、出産予定日前後に胎児または子ども1人につき5万円をお渡しします。

■ 赤ちゃんとお母さんが

安心して出会えるように

母子健康教育・健康診査事業（1億1,676万円）

安心して妊娠・出産を迎えられるよう、妊婦健診の費用を助成するなどのサポートを行います。

また、妊娠の届け出をされた方全員に、保健師や助産師が面談を行い、自身を担当する「マイ保健師」を紹介します。必要に応じて妊娠中の相談や訪問を行い、不安を和らげながら、安心して赤ちゃんを迎えられるようお手伝いします。

充実♪ 中日ドラゴンズスポンサーゲーム

（955万円）

市内の小学生とその保護者を試合に招待し、セレモニーや場内ビジョンに登場してもらうことで可児市の魅力をPRします。

令和8年度は、より多くの子どもたちが参加できるようにします。

充実♪ 可児っ子海外交流訪問（800万円）

国際的な感覚と幅広い視野を育み、物おじせずにコミュニケーションできる楽しさを知ってもらうため、市内の中高生が豪州レッドランド市で交流できる機会を提供します。

令和8年度は、参加人数を15人から20人に増やします。



子どもとの暮らしが
始まったら

■ 育児で不安を抱え込まないように

新規 こども誰でも通園制度（687万円）

満3歳未満の未就園児を持つ子育て家庭への支援を強化するため、令和8年4月から「こども誰でも通園制度」を、市内中心部で利便性の高い総合会館1階で実施します。

産後ケア事業（375万円）

産後の体調がすぐれない方や、育児に不安や心配がある方が、助産師に相談できる場を増やし、安心して育児ができるようサポートします。



■ 思い出に残る体験を

新規 eスポーツイベントの開催（600万円）

全国に誇る劇場施設である文化創造センターアーラの全館を舞台に、eスポーツイベントを開催します。

全身を使って戦国武将と戦うVRゲーム「VS明智光秀」のほか、幅広い世代が楽しめるコンテンツを企画します。

新規 小中学校アーラ体験会（110万円）

文化創造センターアーラを舞台に、各学校が「アーラでやってみたいこと」を自ら企画し、実際に体験する機会をつくりまします。

新規 農業体験バスツアー（5万円）

生産者や農業施設、販売店などをバスで巡り、農業を楽しみながら体験してもらうイベントを実施します。

新規 リサイクルセンター見学ツアー（8万円）

夏休みに親子でリサイクルセンターを見学し、リサイクルの仕組みをわかりやすく学ぶ機会を提供します。

PICK UP

“可” 能性あふれる“児” のそだつまち 可見で、
「愛着」と「誇り」を持った可見っ子が育つように

～ マイナス10カ月から つなぐ まなぶ かかわる 子育て ～

保育園や幼稚園
に入ったら



■ 多様な保育ニーズに対応

充実♪ 保育園・幼稚園関連経費（27億7,799万円）

保育園や幼稚園の運営・支援を行い、保護者の多様な保育ニーズに対応します。また、障がいや発達に不安のあるお子さんが安心して通えるよう、加配保育士の配置費用を助成するなど、保育の体制を充実させます。

また、公立園において保護者の利便性向上と保育業務の効率的な実施のため、保育ICTシステムの導入によるデジタル化を進めます。

小学校・中学校
に入ったあと



■ 友達といっぱい遊んで、 いっぱい勉強できる環境づくり

充実♪ プールの授業を屋内温水プールへ移行
（8,298万円）

子どもの学習環境の充実のため、市内全小中学校の水泳授業を、天候に左右されない民間プール事業者の「屋内温水プール」で実施します。

新規 熱中症予防対策（2,129万円）

子どもたちを熱中症から守るために、いつでも冷たい水が飲める冷水器を小中学校に設置します。また、登下校のときに子どもたちが休憩できるスペースを提供する「みまもりオアシス」などを実施します。

また、令和9年度の体育館への空調設備の設置に向けた準備を進め、設置が完了するまでの間はスポットクーラーを配備します。

小中学校施設大規模改造事業（14億7,600万円）

子どもたちが安心して過ごせるよう、トイレの洋式化など、学校施設の整備を進めます。

■ 経済的支援の充実

充実♪ 小学校の給食費完全無償化（9,040万円）

食材費の高騰が続く中でも、子どもたちにおいしい学校給食を提供し続けられるよう、小学校の給食費の完全無償化を実施するとともに、中学校の給食費の高騰分も市が引き続き負担します。

■ 子どもの不安に寄り添う支援

充実♪ 校内教育支援センターの体制強化
（4,299万円）

「登校はできるものの教室には入りづらい」という子どもたちの校内の“居場所”としての「校内教育支援センター」の設置校を拡充します。設置校すべてに専属の支援員を配置し、一人ひとりの安心できる学校生活を支えます。

充実♪ 校内学習支援の体制強化（2億8,481万円）

授業において学習に不安を抱えている子どもを補助する「スクールサポーター」等を全校に配置し、子ども一人ひとりに寄り添った学習支援を実施します。

スマイリングルームの運営（3,506万円）

不登校の傾向にある子どもたちのために、集団活動の中で社会性を育む「スマイリングルーム」、対人関係の基礎をゆっくりと築く「ニコニコルーム」、オンライン上で学習支援などを行う「メタスマルーム」という「多様な学びの場」を設け、社会的な自立を支援します。

PICK UP

定住



生まれ育ったこのまちで
住み続けたい

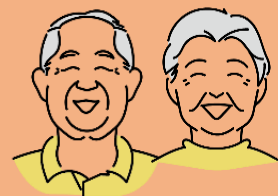
重点方針



高齢者の安気づくり



いつまでも住み慣れた地域で安気に暮らす



■ 高齢者の足を確保

充実 移動支援を行う団体に車を貸与（696万円）

高齢者の移動を支援する団体に、市が車を無償で貸し出し、移動手段の確保をサポートします。

令和8年度は、新たに1台ずつ清水ヶ丘地区及び桜ヶ丘地区の団体へ貸し出し、移動支援を利用できる地域を広げます。



若葉台高齢福祉連合会へ貸与した車両

■ いつまでもすこやかに、毎日をおだやかに

高齢者サロン支援・介護予防普及啓発事業

（2,106万円）

地域で高齢者サロンを運営している団体を支援し、高齢者同士が気軽に交流し、ふれあえる場をつくれます。また、介護予防の普及啓発の一環として、地区センターなどで簡単な体操や脳トレを行う「まちかど運動教室」を開催し、健康づくりをサポートします。

令和8年度から、サロンなどで専門家による“聞こえ”の大切さの啓発や簡易な聴力検査を行います。

新規 難聴高齢者補聴器購入費助成（200万円）

前述の“聞こえ”の大切さの啓発や簡易な聴力検査とあわせて、難聴の方の健康的な生活を後押しするため、補聴器の購入費の助成を実施し、社会参加の促進と認知症リスクなどの低減を図ります。



サロン可児川の様子

地域・経済の元気づくり



いきいきと働き暮らせるまちを目指して



■ 市外からも人が集まる公園へ

新規 トイファクトリーの丘整備事業

(1,900万円)

トイファクトリーの丘（ふれあいパーク・緑の丘）を、民間企業のアイデアやノウハウを活用しながら、東海地区に誇る魅力ある公園として再整備を進めます。

■ 可児市の魅力を全国、そして世界へ発信

新規 観光政策推進事業（4,079万円）

歴史や自然をはじめとした可児市が誇る地域資源を全国、そして世界へ発信するための効果的なPRに取り組みます。

令和8年度は、荒川豊蔵資料館のライトアップ企画や、全国規模のイベントへの積極的な出展を実施します。



トイファクトリーの丘(芝生広場)

■ 地域産業の担い手づくり

かにっこlaboバスツアー（123万円）

小中学生などを対象に、職場見学やワークショップを開催し、親子で楽しみながら市内企業を知る機会を提供します。

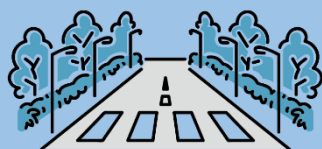
この取り組みを通じて、若い世代の市内企業への就職を促進していきます。

新規 若者・企業交流支援（80万円）

高校生や大学生が地元企業で働く魅力に触れることができる交流会を開催します。



荒川豊蔵資料館周辺の撮影スポット



まちの安全づくり



安全安心な暮らしを守るために



■ 安心して暮らせる生活環境を

充実♪ さつきバス路線・ダイヤ再編成
(7,691万円)

さつきバスを早朝や夕方の運行を開始し、鉄道利用がしやすいダイヤとルートに改善することで、通勤・通学の移動手段を支えます。また、病院・スーパー・公園等に停留所を設置し、高齢者や子育て世帯の日常の移動にも配慮した運行を実現します。

充実♪ 防犯カメラの設置 (1,554万円)

通学路や公園を中心に防犯カメラの設置を進め、地域の見守り体制を強化します。

充実♪ 照明灯の設置 (942万円)

夜間の安全性を強化するため、横断歩道周辺などに照明灯を増設します。

■ 災害に強いまちづくりを

防災情報の発信 (570万円)

内水ハザードマップを作成し、自宅や生活圏の浸水リスクを具体的に把握できるようにし、日ごろの備えにつなげます。

■ 市内の道路を安全・快適に

道路舗装の改修 (5億円)

幹線道路だけでなく生活道路も含め、傷んだ道路の舗装改良を進め、歩行者や車が安全に通行できる環境を整えます。

令和8年度も、前年度と同じ規模の予算を確保し、より多くの道路を整備し、安全で快適なまちづくりを進めます。

■ いつでも安定した水道水の供給を

水道施設の耐震化・更新 (11億9,964万円)

災害時でも安定して水を供給できるよう、送水管などの耐震化を進めます。また、将来にわたって無駄なく水を届けられるようにするため、配水施設の集約などによって、より効率的な配水体制を整えます。



可児駅前 防犯活動の様子



舗装前の市道50号線(虹ヶ丘)

一 般 会 計

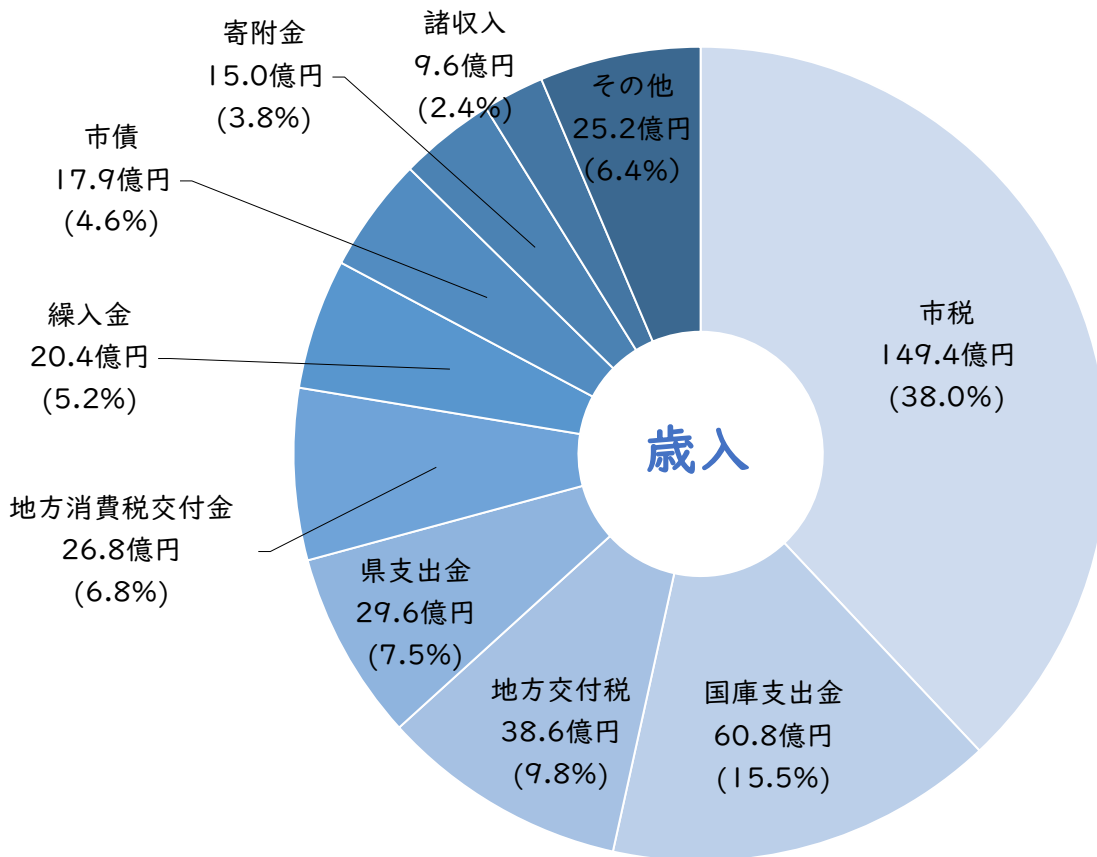
資 料 編

一般会計 歳入予算額

科目	区分	令和8年度	令和7年度	対前年度比較	
				増減額	増減率(%)
1	市 税	149億4,240万円	147億5,800万円	1億8,440万円	1.2
2	地方譲与税	2億9,680万円	2億8,590万円	1,090万円	3.8
3	利子割交付金	1,900万円	400万円	1,500万円	375.0
4	配当割交付金	1億6,600万円	5,000万円	1億1,600万円	232.0
5	株式等譲渡所得割交付金	2億8,000万円	4,000万円	2億4,000万円	600.0
6	法人事業税交付金	2億6,000万円	1億6,000万円	1億円	62.5
7	地方消費税交付金	26億8,000万円	24億2,000万円	2億6,000万円	10.7
8	ゴルフ場利用税交付金	1億7,500万円	1億8,000万円	△500万円	△2.8
9	環境性能割交付金	300万円	4,500万円	△4,200万円	△93.3
10	地方特例交付金	1億9,920万円	1億700万円	9,220万円	86.2
11	地方交付税	38億6,000万円	31億円	7億6,000万円	24.5
12	交通安全対策特別交付金	600万円	600万円	0円	0.0
13	分担金及び負担金	6,169万円	6,192万円	△22万円	△0.4
14	使用料及び手数料	3億8,353万円	3億7,165万円	1,188万円	3.2
15	国庫支出金	60億8,223万円	59億2,813万円	1億5,410万円	2.6
16	県支出金	29億5,718万円	27億9,263万円	1億6,455万円	5.9
17	財産収入	1億6,555万円	1億1,659万円	4,896万円	42.0
18	寄附金	15億円	13億円	2億円	15.4
19	繰入金	20億3,526万円	21億7,193万円	△1億3,668万円	△6.3
20	繰越金	5億円	5億円	0円	0.0
21	諸収入	9億6,226万円	11億6,425万円	△2億199万円	△17.3
22	市債	17億9,490万円	29億6,700万円	△11億7,210万円	△39.5
	合計	393億3,000万円	385億3,000万円	8億円	2.1

※万円未満を四捨五入しているため、合計・増減額が一致しない場合があります。

どういう名目でいくらお金が入るのか見てみましょう！



主な収入の説明

市 税 : 市内に住む人が納める個人市民税、市内に事業所を持つ企業などが納める法人市民税、市内に土地や家などを持っている人が納める固定資産税などがあります。

国庫支出金 : 国や県が、市の事業に支援してくれるお金です。

県 支 出 金

地方交付税 : 日本全国どこに住んでいても同じような行政サービスが受けられるように、市民の暮らしに必要な費用と、市に入るお金を比べて、不足した分を国が補ってくれます。

地方消費税 : 物を買ったときなどに支払う消費税の一部が、市にも配分されます。

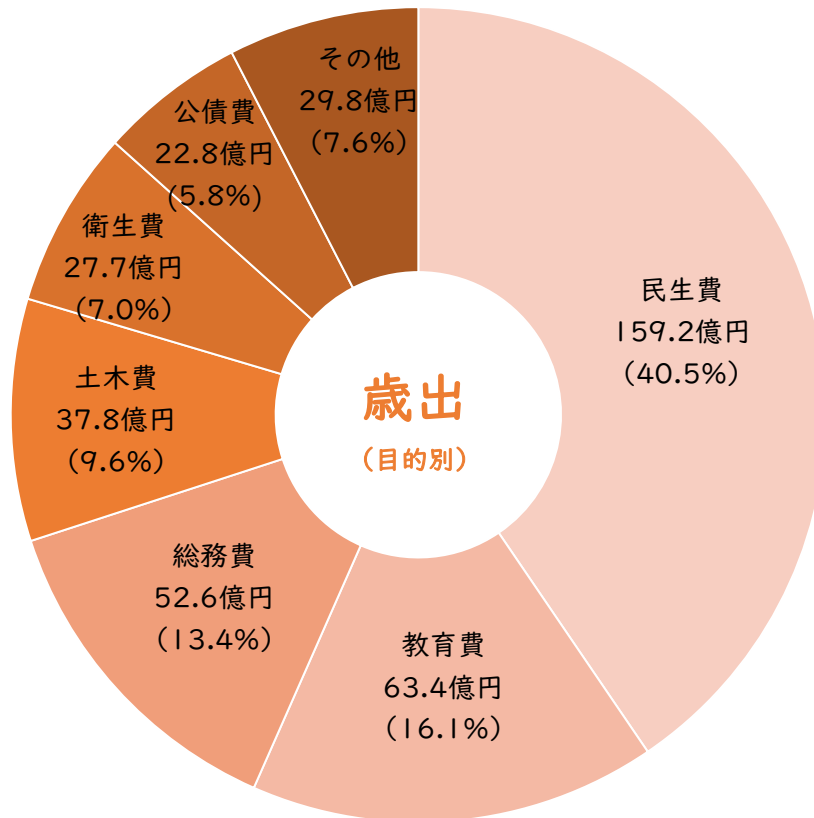
交 付 金 このお金は、幼稚園・保育園の無償化など、社会保障のためにも使われています。

一般会計 歳出予算額（目的別）

目 的 別	令和8年度	令和7年度	対前年度比較	
			増減額	増減率(%)
1 議会費	2億6,649万円	2億6,823万円	△173万円	△0.6
2 総務費	52億6,283万円	52億1,484万円	4,800万円	0.9
3 民生費	159億2,215万円	151億2,975万円	7億9,241万円	5.2
4 衛生費	27億6,777万円	26億6,142万円	1億635万円	4.0
5 労働費	2,025万円	2,044万円	△19万円	△0.9
6 農林水産業費	6億8,634万円	6億3,498万円	5,136万円	8.1
7 商工費	6億4,019万円	6億9,473万円	△5,453万円	△7.8
8 土木費	37億7,809万円	37億7,294万円	515万円	0.1
9 消防費	13億1,402万円	16億4,760万円	△3億3,359万円	△20.2
10 教育費	63億4,287万円	63億6,372万円	△2,085万円	△0.3
11 公債費	22億7,900万円	20億7,137万円	2億763万円	10.0
12 予備費	5,000万円	5,000万円	0円	0.0
合 計	393億3,000万円	385億3,000万円	8億円	2.1

※万円未満を四捨五入しているため、合計・増減額が一致しない場合があります。

何のために使うのか【目的別】に 見てみましょう！



主な費用の説明

民生費：子どもから高齢者まで、すべての住民が安心して暮らせるように使われる、福祉のための費用です。

教育費：幼稚園や小中学校での教育にかかる費用のほか、文化創造センター・アーラや体育施設の維持管理・運営など、文化やスポーツに関する費用です。

総務費：市がさまざまな行政サービスを提供するために必要な運営費です。財産の管理や税の賦課・徴収、選挙や統計、ふるさと応援寄附金の返礼品などにかかる費用が含まれます。

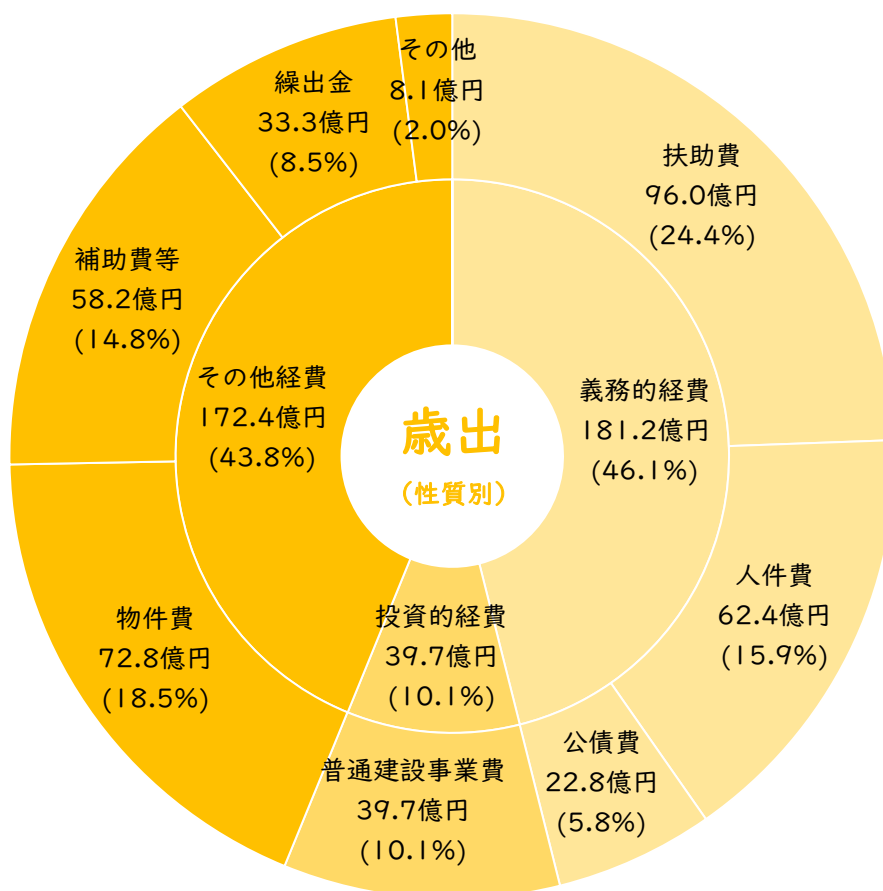
土木費：道路の舗装や公園の維持管理など、暮らしに欠かせないインフラの整備にかかる費用です。災害に備えて河川などを改修する費用も含まれます。

一般会計 歳出予算額（性質別）

性質別	令和8年度	令和7年度	対前年度比較	
			増減額	増減率(%)
義務的経費	181億2,143万円	168億7,752万円	12億4,392万円	7.4
人件費	62億3,913万円	58億3,746万円	4億167万円	6.9
扶助費	96億330万円	89億6,869万円	6億3,461万円	7.1
公債費	22億7,900万円	20億7,137万円	2億763万円	10.0
投資的経費	39億6,994万円	53億8,152万円	△14億1,157万円	△26.2
普通建設事業費	39億6,994万円	53億8,152万円	△14億1,157万円	△26.2
その他経費	172億3,862万円	162億7,097万円	9億6,766万円	5.9
物件費	72億8,055万円	67億8,919万円	4億9,136万円	7.2
維持補修費	2億6,188万円	2億3,404万円	2,784万円	11.9
補助費等	58億1,728万円	55億5,207万円	2億6,521万円	4.8
積立金	1億4,377万円	9,721万円	4,656万円	47.9
投資及び出資金	2億5,377万円	3億232万円	△4,855万円	△16.1
貸付金	1億600万円	1億600万円	0円	0.0
繰出金	33億2,538万円	31億4,014万円	1億8,524万円	5.9
予備費	5,000万円	5,000万円	0円	0.0
合 計	393億3,000万円	385億3,000万円	8億円	2.1

※万円未満を四捨五入しているため、合計・増減額が一致しない場合があります。

どういうことに使うか【性質別】 に見てみましょう！



主な費用の説明

扶 助 費：子どもから高齢者まで、さまざまな福祉にかかる費用です。病気などで生活に困っている人を支援する生活保護や保育園への保育費などがあります。

普通建設事業費：道路や公共施設などの整備にかかる費用です。

補 助 費 等：ごみ処理を担う可茂衛生施設利用組合や消防・救急を担う可茂消防事務組合への負担金、また個人や各種団体に交付する補助金などの費用です。

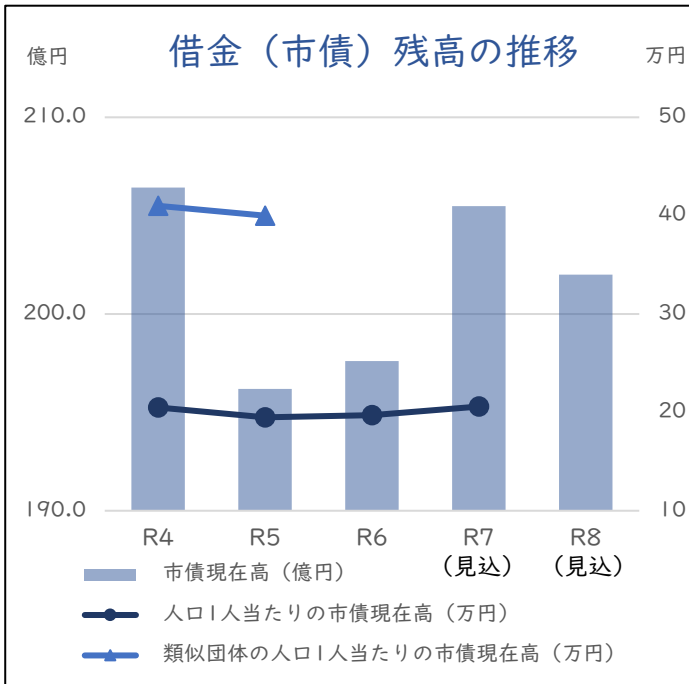
物 件 費：各種市民サービスに必要となる業務委託料や物品購入などの費用です。

義 務 的 経 費：人件費や扶助費、公債費といった支出が義務付けられている費用です。減らすことが難しいとされる費用です。

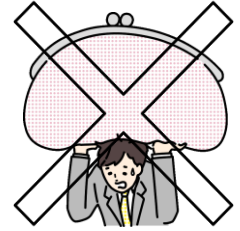
投 資 的 経 費：普通建設事業費や災害復旧事業費といった施設整備や復旧工事などにかかる費用です。

可見市の借金と貯金

一般会計



将来世代に負担が掛からないように

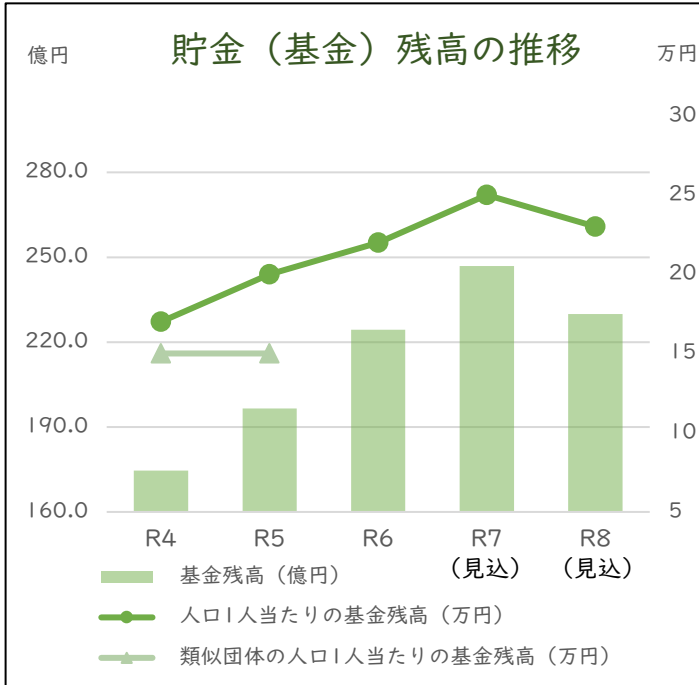


市債は可見市の借金にあたるものです。市債残高は、大型事業の終了などもあり減少した時期もありますが、小中学校の改修などを進めるため、新たな借入を増やしたことで増加に転じています。とはいえ、類似団体（※）と比較すると、人口1人当たりの市債残高は半分程度となっています。

今後も将来世代への負担が大きくならないように運営していきます。

※ 類似団体：可見市と同じような人口規模や産業構造を有する自治体。（関市、愛知県犬山市など）

一般会計



備えあれば憂いなし



基金は可見市の貯金にあたるものです。基金残高は、平成23年度末では72.3億円でしたが、令和7年度末には246.9億円となる見込みです。類似団体と比較しても、人口1人当たりの基金残高は上回る金額で推移しています。

今後も予期せぬ災害や老朽化する公共施設の更新費用など、市民の皆さんの生活に影響がないようしっかりと備えていきます。

MEMO

借金（市債）について…

お金を借りることができる事業は、道路や施設の整備などに限られますが、これらは将来にわたって多くの人が使うものです。お金を借り分割で支払うことで、将来にわたり広い世代で負担していくという機能もあります。